

## 【学校教育目標】

# たくましく ゆたかに 立つ

## 【学校の重点目標】

- 基礎学力を身につけ学びに向かう児童集団の育成
- 学びを次につなぎ深める「振り返り」ができる児童の育成
- 自他の違いを認め、互いを尊重する児童の育成



### ◀ 咸宜園教育の理念を生かした学校経営 ▶

広瀬淡窓先生の「咸宜」（みな・よろし）「敬天」「休道」の教えを根底に、たくましく生きる力を身につけさせる。

- 【心静かに観る】冷静に客観的に観る時にこそ子どもの良さが。
- 【全て身体で説く】理屈より行動で、抽象より具体で指導することで子どもの知恵が。
- 【集中・継続は力なり】一つのことを集中・徹底して指導することで子どもの力が。
- 【師弟同行】子どもと共に汗を流すことで子どもとの信頼感が。

## 学校の重点目標達成に向けた具体的な取組

### ○基礎学力を身につけ学びに向かう児童集団の育

- 学期毎の単元テストにおいて、期待値未満の児童を33%以下にする。  
・担任は、週末課題を効果的に実施したり、放課後等の時間を使ってやり直しの徹底を行ったりすることで基礎基本の定着を図る。Qubenaの活用では、解説をしっかりと読ませ、解き直しを必ずさせていく。
- 「勉強(新しいこと学ぶこと)は好きです。」の問いに肯定的に回答する児童の割合を全体で83%以上にする。  
・担任は、キュビナを活用する際、正答率や解答数等を各自で確認させ、学習意欲の向上や自主的な学習に取り組む力をつけさせる。

### ○学びを深め次につなげる「振り返り」ができる児童の育成

- 「単元末・単位時間ごとの振り返りの場面で、OPPAシートを使って自分の学びを深め次につなげる振り返りができた」との問いに肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。  
・担任は、単元末や単位時間内で自分の成長や軌道修正につながる振り返りの場面を設定し、OPPAシートを活用し児童のメタ認知の向上を見取る。
- ・担任は、「自立した学習者」を生むために算数科の各単元の中で必ずあいあいタイムを取り入れ、自己調整しながら深めていく力をつけさせる。

### ○自他の違いを認め、互いを尊重する児童の育成

- 「咸宜っ子の木」の取組の際、毎月1回以上話し合い活動の中で自分やクラスの成長を振り返ることができたと答える児童の割合を、全体で80%以上にする。  
・担任は、毎月1回以上、自分のクラスの成長や頑張りを振り返る学級会(生活目標反省時等)を行い、大きな花カードを作成する。
- ・担任は、「なかよしタイム」で良いところを認める場を設定し、否定的な児童には、個別に声かけをする。

## 特色ある学校づくりと諸課題の解決に向けた積極的な地域との連携 ～コミュニティ・スクールの推進～

### 学習支援

- 一人一人の児童の把握
- 個に応じた学習指導や支援の充実
- 「目と心で聴く」「丁寧に文字を書く」指導の徹底
- 家庭学習の質、量を高める「生活万善簿」の活用

### 防災教育・安全管理

- 自然災害・不審人物への的確な対応
- 命を守るための防災訓練の実践
- 整理整頓の徹底
- 危険個所の把握と監視

### 咸宜園教育・ふるさと学習(自然・歴史・文化)

- 「咸宜」「敬天」「休道」意識の徹底
- 「治めて後、学ばせる」意識の徹底
- 地域の方々からの学び、放学遊山
- 咸宜公民館と連携した体験活動の推進

### キャリア教育(しごと・産業)

- 自己目標の設定
- 目標を見据えた主体的な学び
- 「夢授業」等ゲストティーチャーによる職業学習
- 「キャリア・ノート」の管理と活用